

平成27年度 甲南学園 事業計画書

<基本方針>

国際的にも、国内でも政治・経済状況が極めて不安定に推移するなか、社会・文化の基盤は非常に脆弱になってきている。そうしたなか甲南学園の教育研究はますますその真価を問われている。さらに、加速する少子化にも曝され、一層厳しい試練に立ち向かわなければならなくなっている。中学・高等学校にあっても、大学にあっても、質の向上を目指し重点化も含めて改革への取組に着手している。

つまり、「人物教育の率先」を具現化する教育、そして高い水準の研究成果を国際的に問うべく教育研究環境の整備・向上に努めてきた。また、財政健全化のためのガイドラインを遵守し、財務体質を抜本的に革め、財務基盤の健全化に取組んできたことにより、安定した学園財政基盤の構築に一定の環境を整えることができています。

平成27年度は、教育力の向上を図るために学生実員を調整した完成年度であるが、都市圏の大学については、抑制を図る方向でより厳しい定員管理が求められるなか、引き続いて帰属収入が減少することが予想され、従前にも増して様々の工夫を迫られる年度となる。また、学費のあり方も検討すべき年度となる。

このような状況の中、学園創立100周年（平成31年）に向け、甲南新世紀（平成32年以降）が揺るぎなく教育研究の精華をもたらし続けられるよう、「人物教育率先・教育力の甲南」「集中・重点化された戦略的研究力の甲南」を推進することを中心に、積極的な取組とさらなる発展の実現を目指していきたい。

そこで、平成27年度は以下の方針に基づいて予算を編成し、学園、大学、高等学校・中学における事業を計画する。

1. 財政健全化のためのガイドライン

- (1) 帰属収入に占める消費支出額全体の適正レベル（喫水線）は98%を目標とする。
- (2) 「人物教育率先・教育力の甲南」推進プロジェクト（KONAN プレミアプロジェクト）は、120百万円程度を目標とする。
- (3) 引当特定資産を活用して実施する事業（いわゆる戦略プロジェクト）は、法科大学院・先端生命工学研究所とし、帰属収入の5.5%以下を目標とする。
- (4) 資産運用収入については、理事長及び学長並びに校長より提案を受けた「21世紀に輝く学園」、すなわち、「優秀な学生への支援」及び「国際的に卓越した研究推進」等に重点配分する。
- (5) 帰属収入にしめる経常支出の割合は91.5%以下を目標とする。
- (6) 人件費及び委託業務費はその金額及び必要性を精査・再考し、一層の低減に努める。

2. 基本金

- (1) 基本金組入額は、教育・研究充実のための施設・機器への投資及び図書購入等、帰属収入の10%程度を目標とする。
- (2) 奨学助成基金に5,000万円を積み立てる。
- (3) 100周年に向けた経営計画は別途検討することとし、成案化された予算額に応じて積み立てる。

<平成27年度の主な取組>

I. 甲南学園創立100周年記念事業の計画策定とその実施

学園創立100周年を記念し、Respectable KONAN of the World (仮)を基本コンセプトに以下の記念事業を展開・推進する。本年度を記念事業スタートの年とする。

- KONAN INFINITY COMMONS (甲南インフィニティ・コモンズ—学生の自治活動・文化会活動等と教育をつなぐ場のもつ無限の可能性を求めて—)の建設(学生会館エリアの耐震改築も含む再開発として現延床面積を1.7倍に拡張)
- 100周年記念 Respectable KONAN スカラシップ (仮)
- 学園創立100周年記念募金活動
- 大学、高等学校・中学校の国際化をテーマとした事業
- 『平生鈞三郎日記』の全巻(平成26年度第9・10巻を刊行。全18巻)刊行、『甲南学園百年史』の編纂・刊行、学園史100周年記念展示企画
- その他 記念式典及び記念行事等

II. 甲南大学の展開

1. 教学新機軸の構築に向けた取組み

甲南新世紀に向けて、本学の教育の特色を一層明確にするため、甲南らしさに根差した「圧倒的な教育力」の実現を目指して、教育改革会議のもとに教学新機軸構想作業部会を設置し、以下のタスクフォースを編成して教学新機軸の構築に取り組む。

- KONAN 新世紀ビジョン策定
- 圧倒的少人数教育推進
- 融合型グローバル教育推進
- アクティブラーニング推進
- 地域連携・ボランティア教育推進
- 学生会館ゾーン再開発検討

2. 教育改革アクションプランの展開

教学新機軸の構築に向けた基盤整備や先行する取組みを積極的に展開するとともに、本学の魅力・特色をより顕著にし、学内外に力強く発信していくため、これまでに蓄積されてきた取組み・検討の成果をもとに、これらを実践・発展する教育改革アクションプランを推進する。

(1) プレミア・プロジェクト

各学部・センター等の特色ある取組み・計画を実践・可視化するとともに、これらを組織横断的に融合し、本学の新たな魅力を創出するためのチャレンジとして、計44のサブプロジェクトを束ねる以下8つのメインプロジェクトを「KONAN プレミア・プロジェクト」として編成・展開する。

① KONAN 神戸連携プロジェクト

国際文化都市・神戸と連携し、「神戸なら、甲南」というイメージの強化を目指す。

② KONAN スーパー人材育成プロジェクト

本学の教育基盤を生かし、甲南らしい「21世紀型グローバルリーダー」の育成を目指す。

③ KONAN グローバル・バリアフリープロジェクト

甲南らしい融合型グローバル教育の実現に向け、教育プログラムや施設環境等の充実・発展を目指す。

④ **KONAN スポーツ元気プロジェクト**

学生の心身の豊かな成長を促進する元気なキャンパス環境をつくとともに、スポーツを通して地域社会の活性化と発展に貢献することを目指す。

⑤ **KONAN スチューデント・サポート プロジェクト**

本学での自立的な学びを確立し、「共に学び・共に育ち育てる」という意味での「共育」の実現を目指す。

⑥ **KONAN スマート・ラーニングプロジェクト**

「教育力の甲南」を支える8学部や各センターの取組みを充実・発展し、各々の特色ある教育方法の開発などを通じて教育力の更なる発展を目指す。

⑦ **KONAN つながるプロジェクト**

学生・教職員の相互のつながりは言うまでもなく、各界で活躍する卒業生や岡本商店街などの地域とつながり融合することによって、学生教育の新たな展開や本学の活力の増進を目指す

⑧ **KONAN “なりたい自分”キャリアデザイン支援プロジェクト**

社会に誇れる甲南生の巣立ちを強力にサポートする。

(2) **共通教育の段階的改革的推進**

「広域副専攻センター」を「共通教育センター」に名称変更し、「広域副専攻科目」を「基礎共通科目」に変更するとともに、科目・内容の充実を図る。加えて、学部融合型の共通基礎演習や高度共通科目の設置等を目指す共通教育の段階的改革的改革に取り組む。

(3) **教育学習支援センターの開設**

「情報教育研究センター」を「教育学習支援センター」に改組し、これまで実施してきた基礎的な情報教育に加え、プロジェクト型学習をはじめとするアクティブラーニングなどの先進的な授業やこれらの教育を受ける学生の学びに対する支援を行う。また、教学評価体制（IRネットワーク）事業において蓄積された学生調査の分析結果を踏まえた教育学習支援、「大学ポートレート」を活用した特色ある教育研究の取組成果の情報発信を通じて、「教育力の甲南」を推進する取り組みを実施する。

(4) **グローバル・ゾーン（仮称）の整備**

国際言語文化センターや言語教育施設のある2・6号館エリア（2号館1階）に国際交流センター及び留学生のための「あじさいの一む」を移転するとともに、外国語のみでコミュニケーションするLanguage LOFT、グローバル・ラーニングコモンズ、グローバル・カフェ（いずれも仮称）を新設、これらを一体化したグローバルゾーン（仮称）として整備し、グローバル教育機能の集積・充実を図る。グローバルゾーン（仮称）では、国際交流センターのもとに同ゾーンの運営管理体制を整備し、国際交流センター及び国際言語文化センターが提供する各種イベントや語学教育と連動したプログラムを実施するほか、留学生との交流、学生の自律的な学習を促進する場として活用し、本学のグローバル教育拠点として整備していく。

(5) **サーティフィケート制度の確立**

成績評価に現れない学生の力を可視化することにより、学生に自信を与えるとともに、学生に対する社会的評価を高めることを目的として、学生の個性を評価する甲南独自の制度「KONAN Certificate」を立ち上げる。まず、本年度においては、「GLOBAL Certificate」、

「LIBRARY Certificate」について制度確立を目指す。

(6) 大学の情報発信力の強化

教育改革アクションプラン等、大学の各種取組みの状況を積極的に情報発信する体制をとり、ステークホルダーや社会に対して本学の特色・魅力をアピールしていく。また、「甲南らしさ」をワンワードで表現し、学内外に発信することを目的として、学生・教職員による投票により無限の可能性という意味を込めた「INFINITY（インフィニティ）」が選定されたことを受けて、これをデザインしたコミュニケーション・マークを定め、甲南学園 100 周年に向かう本学の取組みの旗印として、各種媒体への掲載や広報活動等に活用する。さらに、昨年度において、学生、教職員を含め甲南大学にかかわる全員が心に留めるべき行動規範として「KONAN U. WAY～世界に通じる人物をめざして」を定めたことに伴い、その周知・定着を図るための広報活動を行う。

Ⅲ. 戦略事業の展開

平成 16 年度より戦略事業として展開している、以下の事業を推進する。

■法科大学院の第 3 期プロジェクト 2 年目の展開

予備試験制度が定着し、ロースクールの制度環境が厳しさを増すなか、甲南ならではの「甲南ローヤー」が育つ法曹養成教育に務め、昼夜開講、春秋入学制度を敷き、広く社会人にも門戸を開き、質の高い少人数教育・学習指導体制を確立する。

■先端生命工学研究所（FIBER）の第 2 期プロジェクト 2 年目の研究推進

「FIBER 第Ⅱ期計画」に基づく研究を展開するとともに、文部科学省「私立大学戦略的研究基盤形成支援事業」（平成 26 年度から 5 年間）に採択された新たな研究をも推進する。

Ⅳ. 高等学校・中学校の展開

2 年目を迎える新コース制の以下の取組みを推進するとともに、新甲友会館「学園創立 90～100 周年記念 甲友会館」（平成 26 年度竣工）、新体育館「学園創立 90 周年記念 徳体知アリーナ」（平成 27 年度竣工）を利用した正課外活動の充実を図る。

- ・特別プログラム「サイエンス・ラボ」「グローバル・ラボ」の開始
- ・基礎期間（中学 1～2 年生）での SGE（構成的グループエンカウンター）の導入

<事業の概要>

V. 大学・大学院関係

1. 教育

(1) アクティブラーニング等の推進、学修支援体制の充実

中規模アクティブラーニング教室整備、教務システムによる修学支援の充実 履修取消制度の具体的な実施方法の検討、学修に余裕がある学年暦の編成

(2) FD 活動等教育改革への取組と教育力強化の支援・促進

担当者間・科目間の連携強化、教育の基本方針と 3 つのポリシーを具体化する取組推進、授業の工程表として機能するシラバス作成支援システムの構築

(3) 国際社会でグローバルに活躍できる能力を身につけた学生の輩出

新たな留学プログラムと新規協定校の検討、短期プログラムを含めた受入留学生の拡大、認定留学制度導入に向けた検討

(4) キャリア教育の推進

学部教育と連携を図った体系的なキャリア教育プログラムの展開

(5) 教員養成の理念に則した教職課程の運営と全学的な教職指導の体制構築

教育職員養成課程カリキュラム委員会の機能充実、「教職実践演習」の充実、教職基幹科目の設置とカリキュラム再編、センター教員と教職指導員を中心とした教科別指導体制の整備、外部機関による講座と模擬試験の実施

(6) スポーツ推薦入学者への教育支援

スポーツ推薦入学者を対象にした基礎体育学演習特別クラスの編成、スポーツ活動や学生生活を自らマネジメントする力をつけることを目的とした特別カリキュラムの実践、スポーツ推薦入学者の個性を生かすための全学的な連携強化

(7) 自己点検評価の推進、内部質保証システムの構築

平成 25 年度の認証評価（結果は適合）で受けた指摘事項の改善、学園 100 周年に向けた内部質保証システムの構築と「人物教育の率先」を具現化する教育課程編成の検討

2. 研究

(1) 学内の各種研究助成による研究支援

「平生太郎基金」、「甲南学園教育・研究基金」等の運用果実を活用した研究、出版、外国人研究者の招聘等事業への助成

(2) 私立大学戦略的研究基盤形成支援事業の展開

平成 25 年度文部科学省私立大学戦略的研究基盤形成支援事業に採択された「環境応答を司る細胞ネットワークの機能発現の分子細胞メカニズムの解明」（統合ニューロバイオロジー研究所 期間：平成 25 年度から 5 年間）の研究推進

- ・同事業への新規申請

(3) 研究支援の強化、コンプライアンスへの対応

- ・各種競争的研究資金の申請から管理・執行までの一元的な支援体制の強化、科研費関連説明会の開催、各種助成金情報の定期的な発信、産官学連携コーディネーターとの連携等による研究費獲得に向けた積極的な取組の推進
- ・「研究機関における公的研究費の管理・監査のガイドライン（実施基準）」、「研究活動における不正行為への対応等に関するガイドライン」に対応した体制の整備、コンプライアンス教育、研究倫理教育の推進

(4) 知的財産の活用促進、管理体制の構築

- ・本学教員の研究シーズ情報の積極的な発信と東京地区での展開、産官学連携に有益な各種展示会、「イノベーション・ジャパン ー大学見本市ー」、新技術説明会等への参画出席
- ・休眠特許の整理、休眠特許を作らない仕組み(ガイドライン) の策定

3. 学生支援活動

(1) 学生生活の支援

学生マナーアップの推進、学内奨学金制度の充実、甲南スカラシップ倶楽部の拡充、学生の健康保持・増進、学生生活の改善・充実及び課外活動の活性化に向けた支援

(2) キャリア形成・就職支援

学生一人ひとりを大事にする親身なサポートと質の高い進路支援の推進、進路満足度の向上

(3) 保護者との関係強化

「教育懇談会」の充実、キャリアセンター・各学部での説明会・講演会、個別学修相談等の実施

4. 社会連携・貢献活動

(1) 地域連携・貢献活動の推進

東灘区児童館ジャンボリー(東灘区社会福祉協議会との連携)、岡本クリーン作戦(岡本商店街振興組合との連携)等の実施、神戸市東灘区役所や御影クラスセとの地域連携協定に基づく各種活動の推進、学内博物館実習施設「ギャルリー・パンセ」での展示発表、六甲アイランド総合体育施設を活用したイベント、図書館・サイバーライブラリの地域公開

(2) 「ひらめき☆ときめきサイエンス」、教員免許状更新講習会の開講

独立行政法人日本学術振興会「ひらめき☆ときめきサイエンス」に採択されたプログラムの実施、教員免許状更新講習の開講

(3) 産官学連携の推進

本学と関わりのある産業界、官公庁とのネットワーク強化、企業との連携協定に基づく各種活動の活性化

(4) 自治体連携・大学間連携の推進

神戸市大学連携室との共同事業「大学都市神戸情報発進プロジェクト」の継続、「大学コンソーシアムひょうご神戸」加盟大学との相互交流の活性化、「西宮市大学交流協議会」の大学共通単位講座や市民対象講座等への講師派遣

(5) 生涯学習・スポーツ振興の支援

社会人講座、各種シンポジウム、公開講座、KONAN スポーツクラブ等の開催

5. 環境整備

(1) 施設設備の充実、安心安全なキャンパスづくりの推進

岡本キャンパス学生会館エリア再開発計画、2号館グローバルゾーン設置工事、3号館-5号館連絡デッキ設置工事、学生ラウンジのリニューアル工事、太陽光発電設置工事、設備面における防災機能強化と災害備蓄品の整備等

(2) 情報インフラ整備の推進

マルチメディア教育支援体制の再構築、無線LAN環境整備(第2期)、図書館システムの更新

6. 学生募集・入学試験に係る活動

(1) 学生募集活動の強化

オープンキャンパスのプログラム充実、合格対策セミナーと保護者対象説明会の開催、高校教員対象説明会と高校・予備校訪問の強化、「育成型」入試に向けた広報展開の強化、現役合格志向に対応した入試制度改革の推進

(2) 甲南高等学校との連携・接続の推進

平成26年度に見直した甲南高等学校からの推薦入試の実行準備、建学理念に基づく人物教育を目的とした一貫教育体制の確立を目指した連携プログラムの拡充と接続のあり方の見直し

(3) 協定校・指定校との連携・接続の推進

協定校・指定校等重点校との関係強化に向けたコミュニケーションの充実と制度の整備

VI. 高等学校・中学校

1. 教育

平生精神をバックボーンとする甲南一貫教育の実現

- ・「いかに生きるか」という哲学観を持たせることを目的とした講演会「ソフィア」の実施
- ・「理科特別実験」、「特色ある科目」等、甲南大学各学部との連携強化
- ・社会で活躍する卒業生を招聘した「OBワークショップ」の更なる充実
- ・環境学習等を介した、甲南小学校・甲南女子中高、甲南大学との連携強化

2. 学習活動・学校生活の支援

学習環境の整備、学力の向上、徳育の強化

- ・LL教室のCALLシステムを移設、教科「情報」とマルチタスクで利用できるPC教室に改修
- ・LL教室をアクティブラーニングが可能な教室に更新
- ・学習管理システム「レナンディ」を用いたe-learningの促進と家庭学習の充実
- ・図書館での貸出パソコンの整備、より多くの利用を目的とした開館時間の延長
- ・音楽教室の改修
- ・ネイティブ教員による「チャンツコンテスト」「イングリッシュキャンプ」の実施

3. グローバル・スタディ・プログラムの充実

国際コミュニケーション力の向上

- ・東南アジアの代表的工業国であるタイへの短期スタディツアーの新規実施

4. 環境整備

安心安全なキャンパスづくりのための防災対策工事、老朽化した普通教室設備の更新等の実施

5. 生徒募集・入学試験に係る活動

「人創り」の精神、甲南独自の教育内容を伝えるための取組み

- ・教育情報誌等広告媒体の活用と教職員全員参加による学内外での入試説明会の実施

VII. 法人

1. 管理運営

(1) 学園の資金計画等の策定

- ・学園創立100周年記念事業に向けた財政基盤確立のための資金計画、財務推計の策定
- ・学園財政の要因分析、学費のあり方の検討

- ・第2期中期経営計画の策定

(2) 募金の活動の強化

学園創立100周年募金に向けた活動の立ちあげ、教育振興募金の活性化

(3) 労務・法務、リスク管理体制の強化

- ・労務・法務管理の充実、契約審査、法務相談の体制強化
- ・全学リスクに対する事業継続計画(BCP)の策定推進、監査部によるモニタリングと各種規程監査の実施

(4) 中期的な人事政策の策定、総額人件費の抑制、労働安全管理体制の実質化

- ・更なる公正化を目指した職員人事評価制度の見直し
- ・組織の統廃合、業務の効率化による総額人件費の更なる抑制
- ・「第五期一般事業主の行動計画」の実質化を目指した取組の推進、労働安全管理、快適な労働環境の維持向上

(5) 学校法人会計基準改正（平成27年度施行）への対応と適切な予算執行

- ・システム対応はじめスムーズな移行への取組と説明の徹底
- ・監事、監査法人との連携強化

(6) 奨学助成基金の充実

給付制奨学金充実のための第3号基本金組入の継続

(7) 物品・物件調達の合理化・透明化、資産管理の適正化

- ・集中購買の仕組み等の導入
- ・絵画、美術工芸品等の管理システムの構築

(8) 学園情報基盤の再構築

各システムのアセスメントの実施、運用管理方針の策定、統合認証及び統合データベースの検討、ソフトウェアライセンスの統合、教職員グループウェア導入による業務効率化（第二期）、運用管理関連諸規程の整理・統合、重要情報のバックアップ体制の確立

(9) 貸与制奨学金の回収率の向上

(10) ネットワークキャンパス東京の活動強化

3キャンパスと連携した首都圏における活動の展開、首都圏への情報発信、首都圏の各種情報収集及び分析

2. 広報活動・卒業生との連携

(1) 広報活動の充実・ブランド力の向上

「阪神間モダニズム」に基づく広報活動の継続、貴志康一記念室、長谷川三郎ギャラリーの活動強化、WEB広報ツールの充実

(2) 青少年の育成支援・地域社会への貢献を目的としたスポーツ・芸術活動への協賛

(3) 卒業生との連携強化

同窓会との「オール甲南の集い」共同開催、各地甲南会等との関係強化